

# 温室効果ガス排出量 検証報告書

2023年8月15日

三和ホールディングス株式会社 御中

一般社団法人日本能率協会  
地球温暖化対策センター  
上級経営管理者 平川 雅宏



## 1. 検証の対象及び目的

三和ホールディングス株式会社（以下「事業者」という。）が作成した算定対象<sup>\*1</sup>における排出量算定結果「2022年度算定報告書」（以下「算定報告書」という。）に記載の2022年度（2022年4月1日から2023年3月31日まで）の以下の温室効果ガス（GHG）排出量情報に関して、事業者は、一般社団法人日本能率協会 地球温暖化対策センター（以下「当協会」という。）に対し、限定的保証を目的とした検証を依頼した。

### 1) スコープ1 温室効果ガス排出量

算定対象において使用された都市ガス、LPガス、軽油、灯油、ガソリン、及び、事業者が使用した車両の軽油、ガソリンに伴って直接的に排出されるCO<sub>2</sub>排出量

### 2) スコープ2 温室効果ガス排出量

算定対象において電力の使用に伴って間接的に排出されるCO<sub>2</sub>排出量

検証の目的は、算定方法<sup>\*2</sup>に従って、正確に測定、算出されているかについて、独立の立場から結論を表明することである。算定報告書を作成しGHG排出量情報を報告する責任は事業者にあり、当協会の責任は、独立の立場から算定報告書に記載されたGHG排出量情報に対する結論を表明することにある。

## 2. 検証手続き

当協会は、ISO14064-3:2019 (Greenhouse gases - Part 3: Specification with guidance for the verification and validation of greenhouse gas statements)の要求事項に従って検証を実施し、以下の事項を実施した。

- 算定報告書に記載のGHG排出量を決定するために用いられた情報に関する、算定方法、排出量算定システム、及び、関連資料の確認
- 算定報告書の作成に関わる主な担当者へのインタビュー
- GHG排出量の正確性を確認するためにサンプリングによる根拠となる資料の確認

### 3. 検証の結論

算定報告書に記載された 2022 年度の温室効果ガス排出量情報は、算定方法に従って、すべての重要な点において正確に測定、算出されていないと認められるような事項は発見されなかった。

検証された温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> e)	
スコープ 1	10,316
スコープ 2 <sup>※3</sup>	11,992

NOTE:

※1：2022 年度算定対象：三和シャッター工業株式会社の国内全 8 工場、及び、214 拠点

※2：スコープ 1,2 の算定方法：「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン (ver.2.5)」、及び、事業者が作成した「GHG 排出量算定マニュアル」

※3：電力の排出係数：電気事業者別調整後排出係数（R3 年度実績：R5.1.24 環境省・経済産業省公表、R5.7.18 一部追加・更新版）を使用

以上